

News Release

平成 28 年 1 月 29 日
株式会社日本政策投資銀行
代表取締役社長 柳 正憲

「2015 東北インバウンド（アジア 8 地域）意向調査」を発行

ーインバウンドの波は地方へ、東北のありのままの価値を伝えるチャンスを活かせー

株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：柳正憲、以下「DBJ」という。）は、このたび「2015 東北インバウンド（アジア 8 地域）意向調査」と題した調査レポートを発行しました。

DBJ は、平成 24 年から継続して、アジア 8 地域（韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア）を対象としたインターネットによる訪日旅行者の観光意向調査を実施しており、当レポートは、東北訪問経験者や東日本大震災の影響等についての回答結果をまとめたものです。その上で、調査結果に基づき、今後拡大するインバウンド需要を踏まえた東北観光振興のための提言を掲載しています。

今回の調査結果の特徴としては、主に以下 5 点が挙げられます。

1. インバウンド観光客の「地方」への関心は高い。
2. 東北地域に豊富に存在する「自然・景観」への期待が高まっている。
3. 「被災地への訪問」には若干の抵抗は感じられるものの、風評が着実に払拭されている。
4. クレジットカード・免税制度・通信環境等に対応の余地がある。
5. 「東北」の認知度は低い一方で、調査国別にみると東北内には認知度が高い地域も存在する。

当レポートの詳細は、DBJ ウェブサイト「地域・海外レポート（東北）」（<http://www.dbj.jp/investigate/area/tohoku/>）に掲載していますので、ご参照ください。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～私たちは創造的金融活動による課題解決でお客様の信頼を築き、豊かな未来を、ともに実現していきます～」に基づき、地域に役立つ情報発信を積極的に行ってまいります。

【お問い合わせ先】

東北支店 企画調査課 電話番号 022-227-8182